

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2016-69419(P2016-69419A)

【公開日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-027

【出願番号】特願2014-197375(P2014-197375)

【国際特許分類】

C 08 L 1/08 (2006.01)

C 08 L 71/02 (2006.01)

【F I】

C 08 L 1/08

C 08 L 71/02

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

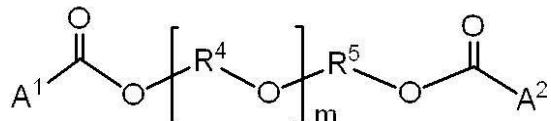
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【化2】

一般式(2)



【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

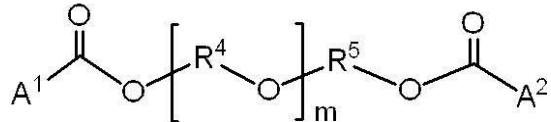
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

【化5】

一般式(2)



【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

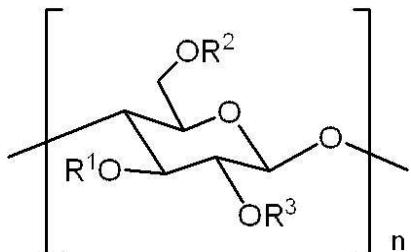
セルロースエステル樹脂と、ポリエーテルエステル化合物と、を含む樹脂組成物。

【請求項2】

前記セルロースエステル樹脂が、下記一般式(1)で表されるセルロースエステル樹脂である請求項1に記載の樹脂組成物。

【化1】

一般式(1)



(一般式(1)中、R¹、R²、及びR³は、それぞれ独立に、水素原子、又は炭素数1以上3以下のアシル基を表す。nは1以上の整数を表す。)

【請求項3】

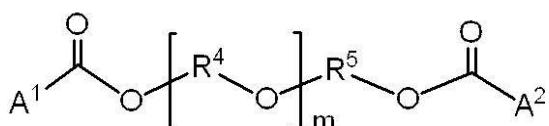
前記一般式(1)で表されるセルロースエステル樹脂が、前記R¹、R²、及びR³がそれぞれ独立に表すアシル基として、アセチル基を有し、且つ置換度が2.1以上2.6以下の樹脂である請求項2に記載の樹脂組成物。

【請求項4】

前記ポリエーテルエステル化合物が、下記一般式(2)で表されるポリエーテルエステル化合物である請求項1～請求項3のいずれか1項に記載の樹脂組成物。

【化2】

一般式(2)



(一般式(2)中、R⁴、及びR⁵は、それぞれ独立に、炭素数2以上10以下のアルキレン基を表す。A¹、及びA²はそれぞれ独立に、炭素数1以上6以下のアルキル基、炭素数6以上12以下のアリール基、又は炭素数7以上18以下のアラルキル基を表す。mは、1以上の整数を表す。)

【請求項5】

前記一般式(2)で表されるポリエーテルエステル化合物が、前記R⁵としてn-ブチレン基を表す化合物である請求項4に記載の樹脂組成物。

【請求項6】

前記一般式(2)で表されるポリエーテルエステル化合物が、前記A¹及び前記A²の少なくとも一方としてアリール基又はアラルキル基を表す化合物である請求項4又は請求項5に記載の樹脂組成物。

【請求項7】

前記ポリエーテルエステル化合物の重量平均分子量(Mw)が、450以上650以下である請求項1～請求項6のいずれか1項に記載の樹脂組成物。

【請求項8】

前記ポリエーテルエステル化合物の25℃における粘度が、35mPa·s以上50m

P a · s 以下である請求項 1 ~ 請求項 7 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 9】

前記ポリエーテルエステル化合物のハ - ゼン色数 (A P H A) が、 1 0 0 以上 1 4 0 以下である請求項 1 ~ 請求項 8 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 10】

前記ポリエーテルエステル化合物の溶解度パラメータ (S P 値) が、 9 . 5 以上 9 . 9 以下である請求項 1 ~ 請求項 9 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 11】

前記セルロースエステル樹脂と前記ポリエーテルエステル化合物との質量比 (セルロースエステル樹脂 / ポリエーテルエステル化合物) が、 1 0 0 / 2 5 以上 1 0 0 / 5 以下である請求項 1 ~ 請求項 10 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 請求項 11 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物を含む樹脂成形体。